



2026年1月期 第3四半期
決算補足説明資料

2025年12月15日
アセンテック株式会社

東証スタンダード市場 証券コード:3565

INDEX

- 01 2026年1月期 第3四半期 決算報告
- 02 2026年1月期 業績予想、配当予想の修正について
- 03 今後の成長に向けて

01

2026年1月期 第3四半期 決算報告

Financial Statement

2026年1月期 第3四半期決算 エグゼクティブサマリー

1

大幅な增收/増益を達成

売上140.7億円(昨年対比51.8%増)

営業利益24.8億円(昨年対比256.8%増)、経常利益23.5億円(昨年対比177.2%増)を達成

2

中期経営計画を前倒し達成

中期経営計画2027年1月期計画値について、経常利益は大幅に計画を上回り達成

売上も1年前倒しで達成する見込み。更なる成長に向けた施策を推進中

3

「リモートPCアレイ」好調

「リモートPCアレイ」が、総務省の新ガイドラインに沿って地方自治体での導入が拡大

民需も堅調に推移し、第18期累計出荷数277台(昨年同期150台増)と計画を大きく上回り好調を維持

4

通期予算上方修正

第3四半期の実績を踏まえ、通期予算を売上175.0億円、営業利益27.5億円、経常利益26.0億円に上方修正

5

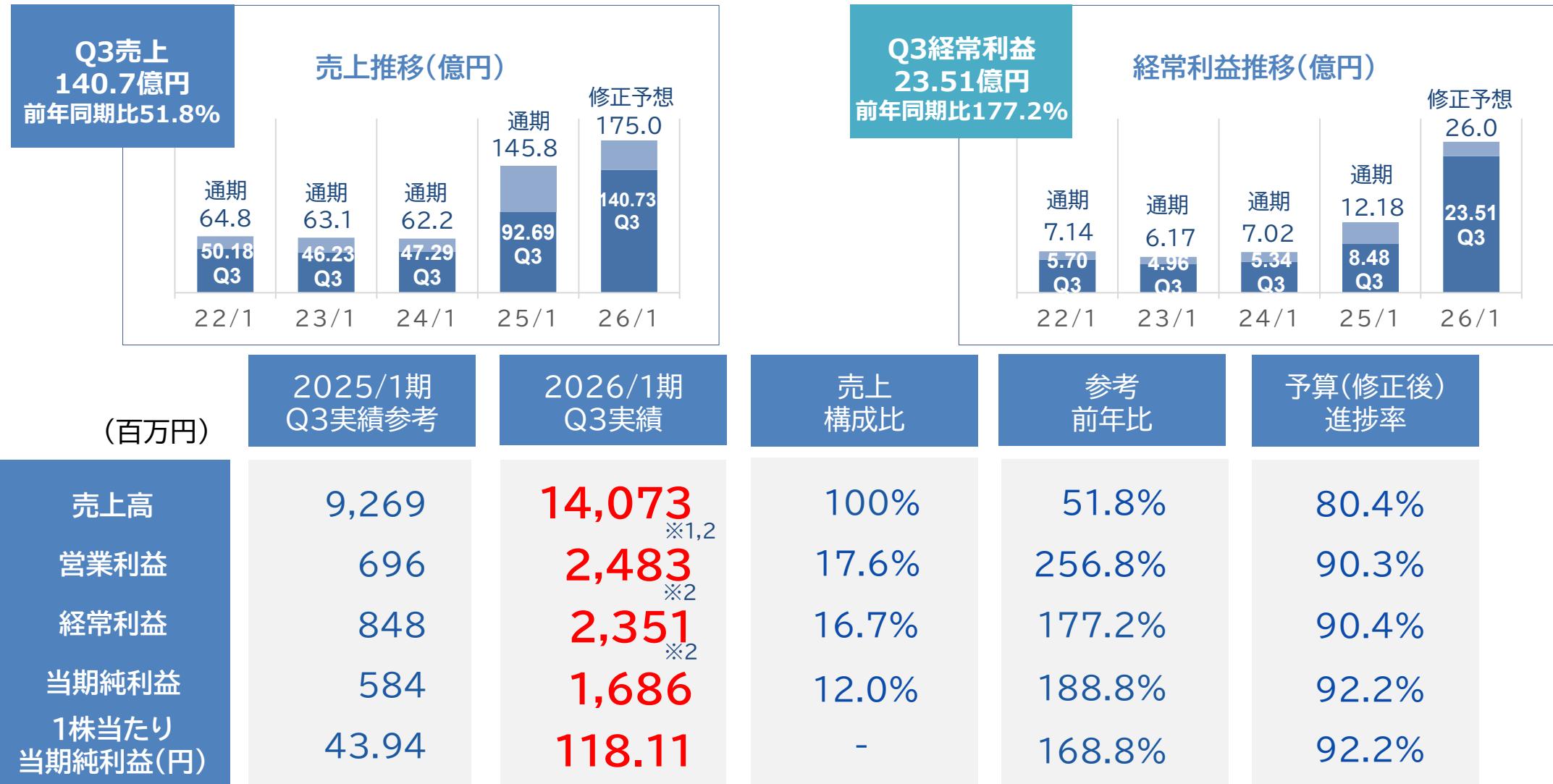
株主還元

株主還元をさらに訴求し、今期の予想配当を30円に増配予定

(2026年1月期の予想配当を20円(期初)→23円(9月16日)→今回30円に増配予定)

2026年1月期 第3四半期 売上・経常利益

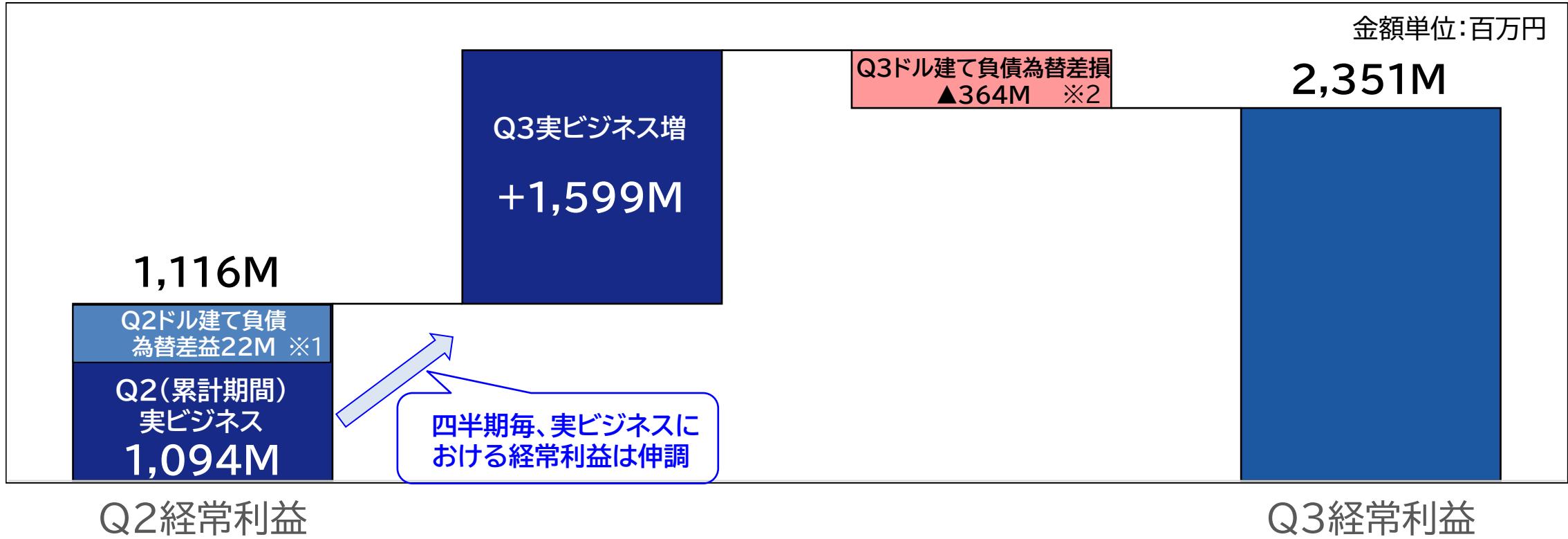
▶ 売上は昨年対比51.8%増、経常利益は177.2%増を達成



※1:第3四半期において収益認識に関する会計基準に基づき、株式会社CXJの一部取引に係る売上高11,709百万円を代理人取引として、純額処理しています。

※2:長期売掛金について、会計基準に基づき、割引現在価値での評価を行い、売上高/営業利益/経常利益を155百万円減額処理しています。(将来へ繰延しています)

経常利益増減分析（前四半期比）



▶ 為替差損の影響

当社は、外国為替相場の変動に伴い、2026年1月期第3四半期連結累計期間（2025年2月1日～2025年10月31日）において、為替差損194百万円を営業外費用として計上することとなりました。

これは、主に、Cloud Software Group, Inc.との戦略的パートナー契約に基づき計上した外貨建ての債務に対する四半期末時点での時価評価に伴う為替差損益（※1:Q2為替差益22M、※2:Q3為替差損:▲364M）や、従来からヘッジを目的として行っている為替予約の時価評価に伴う為替差損益などを反映したことによるものです。

02

2026年1月期

業績予想、配当予想の修正について

Revision of Financial Forecast

2026年1月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

▶ 第3四半期の好調な実績を踏まえ、通期業績予想を上方修正します。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	17,000	2,200	2,250	1,630	114.05
今回発表予想(B)	17,500	2,750	2,600	1,830	128.04
増減額(B-A)	500	550	350	200	—
増減率(%)	2.9%	25.0%	15.6%	12.3%	—
ご参考 前期実績 (2025年1月期通期)	14,586	868	1,218	859	63.82

配当予想の修正

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、財務状況、資金需要等を総合的に勘案し、戦略的投資として活用する内部留保とのバランスをとりながら、経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

この基本方針に合わせ、期末配当金予想を前回予想の23円から7円増配し30円に修正いたします。また、配当性向30%を目標にさらなる株主還元の強化を目指してまいります。

1株当たりの配当金				
基準日	第2四半期末	期末	合計	配当性向
前回予想 (2025年9月16日発表)	0円00銭	23円00銭	23円00銭	20.2%
今回修正予想	0円00銭	30円00銭	30円00銭	23.4%
当期実績				
前期実績 (2025年1月期)	0円00銭	15円00銭	15円00銭	23.5%

03

今後の成長に向けて

For Future Growth

リモートPCアレイの進化と「AIエッジ・サーバ」の開発意向表明

リモートPCアレイ150



RPA

ロボティック・プロセス・オートメーション

リモートPCアレイ100



中規模VDI

自治体、金融、医療

リモートPCアレイ200



中～大規模VDI

自治体、文教

リモートPCアレイ120



高性能VDI

製造CAD、金融トレード

累計出荷台数、1,455台

そして、リモートPCアレイは、AI エッジ・サーバへと進化

AI(クラウド型)の課題

- ◆ セキュリティ
- ◆ 応答速度
- ◆ コスト(従量課金)

オンプレ型 高性能AI エッジ・サーバ

- リモートPCアレイ アーキテクチャ
- NVIDIA AI GPU搭載
- クローズド・ネットワーク

セキュリティ等、3つの課題を解決



2U - 5nodes
RTX6000, RTX4000等

1筐体で、LLM/RAG
& 複数台のボットを集約
自治体、金融、ホテル、医療
向けバーチャルヒューマン

今後の成長に向けて(2025年9月16日決算説明資料抜粋)

▶ 中期経営計画を前倒し達成し、更なる成長へ

- ◆ 引き続き、透明性と健全なガバナンスを強化。
市場環境に柔軟、かつ迅速に対応しながら、中期経営計画を確実にかつ早期に達成し、企業価値の更なる向上を目指します。

▶ 成長が加速する新分野への挑戦

- ◆ 変化が著しく、拡大するセキュリティ分野に向けて、自社製品「SaaS Secure Client」を中心に、新たなセキュリティソリューションを加え、ゼロトラストセキュリティ事業の強化を図ります。
- ◆ 急激に拡大するAI市場への参入を新規に計画中。
新しいAI活用におけるセキュリティ強化に向け自社製品を企画し、将来の更なる成長につなげます。

将来見通し等に関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

文中に記載している社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

